

令和3年度 立山町立雄山中学校の教育グランドデザイン

<学校の教育目標> 社会の変化に対応し、進んで未来を切り拓く心豊かでたくましい生徒の育成

<目指す生徒像> 心豊かな生徒（徳） 自ら学ぶ生徒（知） 進んで鍛える生徒（体）

<立山町の教育 基本理念(教育目標)>

ふるさと立山に誇りと愛着をもち、心豊かで活力ある社会の創造 -『自立と共生』『チャレンジ』-

<学校が目指す姿> 明るい学校 楽しい学校 美しい学校

重点目標

1 生徒理解を基盤とした組織的な指導と支援

- ・教育相談の日常化 ・教職員による情報共有と共通実践
- ・特別支援教育の視点を踏まえた個への関わり

2 温かい人間関係づくりと心の教育（温もりのある学校）

- ・全教育活動を通じた道徳教育 ・成長を促し人権感覚を磨く「振り返りの場」

3 生徒の手による活動の推進（生徒自治の推進）

- ・中学生目線で創り上げる雄山中学校ならではの活動 ・「貢献」の喜びが体感できる機会の保障

4 学力の向上

- ・実感を伴った「分かる授業・見える授業」
- ・生きてはたらく学力を生む朝活動の展開（「新聞コラム」学習）

5 地域とともにある「開かれた学校」

- ・積極的な情報発信 ・家庭や地域、小学校との連携
- ・地域行事やボランティア活動等への生徒参加

研究主題 よりよい人間関係を築き、ともに学び合う生徒の育成
～「かたる・まもる・つなぐ」を意識した活動を通して～

キーワードを踏まえた多様な視点からのアプローチにより生徒を育成する

「自他と対話する生徒」

～「かたる」視点から～

- ・新聞コラムを活用した他者からの学びと自己の振り返り
- ・課題意識を喚起する記事を活用した言語活動の充実

アクションプラン

「自らの体験や考えを伝え合うことができる生徒」の割合が70%以上を目指す。

「人権を大切にしている生徒」

～「まもる」視点から～

- ・身近なテーマから自他の人権について話し合う活動の推進
- ・「いじめ」を生まない学級、学年、学校づくりの推進

アクションプラン

「自らの内面的な成長が実感できる生徒」および「周囲へ思いやりある行動をとろうとする生徒」の割合が75%以上を目指す。

「進んで追究する生徒」

～「つなぐ」視点から～

- ・思いや考えをつなぐ活動の工夫と「学習ツール」の活用
- ・学びの見通しがもてる課題提示と授業展開

アクションプラン

「見通しをもって学習や活動に取り組むことができる生徒」の割合が70%以上を目指す。